箪面市 防火協会だより

vol.100
令和8年（2026年）
10月発行

●発行所　箪面市防火協会
●住　所　〒562-0001
箪面市箪面5丁目
11番19号
箪面市消防本部内
TEL.072-724-9002
（直通）

秋の全国火災予防運動　期間：11月9日（月）～11月15日（日）

全国統一防火標語

『火の確認　いい日を支える　いい習慣』



箪面市防火作品 図画の部 防火協会長賞 入賞　（秋の防火ポスター 採用作品）
箪面市立中小学校　5年　井上　真菜

箪面市消防本部
公式Instagram
消防士の訓練動画や消防の
魅力を投稿しています。

@MINOH_119_OSAKA

災害状況
10月1日現在

◆火災 …… 21件
◆救急 …6,256件
◆救助 ……109件
〈箪面市内〉



会長就任のご挨拶

岸本　一秀



晩秋の候、会員の皆様方におかれましては、ますますご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

このたび、第六十三回箕面市防火協会定期総会におきまして、第八代箕面市防火協会長にご推挙いただき、木田会長の後任として会長の重責を担うことになりました。

もとより、微力ではございますが、歴代会長様をはじめ、諸先輩方が築いてこられた伝統とご功績を礎とし、火災予防の啓発や防火思想の普及高揚など、協会発展のため全力を尽くしてまいる所存でございます。

さて、七月二十八日に発生いたしました「令和八年熊本地震」は甚大な被害をもたらし、未だに多くの住民が避難生活を余儀なくされている状況であります。また、全国各地で線状降水帯等による水害が発生し、その被害は誠に甚大なものとなりました。

私たちが住む近畿圏内においても近い将来、南海トラフを震源域とする大地震の発生が危惧されています。さらには各地で頻発している異常気象による集中豪雨など自然災害に対しても、防災対策の整備充実が急務となっているところです。

このような情勢の中、会員の皆様におかれましては、地域社会の安全確保の重要性を再確認いただき、より一層の自主保安体制の確立と事故防止に努められますとともに、安全で快適なまちづくりのため、引き続き本協会に絶大なるご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、会員皆様のご健勝とますますのご隆盛をご祈念申し上げまして、就任のご挨拶とさせていただきます。

主な経歴

昭和三十二年　岸本紙器工業(株)設立
現在　ウイル包装(株)代表取締役
昭和四十一年　箕面市防火協会入会
平成二十八年　箕面市防火協会工場部会常任理事就任
平成三十年　箕面市防火協会副会長兼工場部会長就任
令和　八　年　箕面市防火協会長就任

消防長(顧問)就任のご挨拶

箕面市消防長　平内　淳



晩秋の候、会員各位におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、平素より本市消防行政の推進に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

このたび、私こと令和八年四月一日付けをもちまして消防長に就任いたしました平内でございます。微力ではございますが、その重責を全うすべく専心努力してまいる所存でございます。何卒前任者同様、変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

箕面市防火協会におかれましては、昭和三十九年の発足以来、長年にわたり火災予防の普及啓発をはじめ、地域の安全確保に多大な貢献を果たしてこられました。会員の皆様のこれまでのご尽力に、改めて深く敬意と感謝を申し上げます。

近年、全国各地で地震や風水害などの大規模な自然災害が相次いで発生するとともに、高齢化の進展などにより救急需要も増加しており、消防を取り巻く環境は大きく変化しています。また、本市においても建物火災が相次いで発生しており、火災予防の重要性を改めて認識しているところです。

本市消防本部におきましても、こうした状況に的確に対応するため、将来を見据えた消防力の充実強化を図るとともに、火災予防を継続的に推進し、各種災害の未然防止と被害の軽減に取り組んでまいります。

一方、地域の安全・安心は、消防の力だけで守れるものではありません。とりわけ火災予防においては、各事業所における日頃からの備えと防火意識の向上、自主防火体制の充実が重要です。会員の皆様には、引き続き消防行政へのご理解とご協力を賜るとともに、消防本部と力を合わせ、災害に強いまちづくりにお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

結びに、箕面市防火協会並びに会員各位のますますのご発展とご健勝を祈念申し上げ、消防長就任のご挨拶といたします。

主な経歴

令和　三　年四月　消防総務室長
令和　六　年四月　消防次長
令和　八　年四月　消防長

会長退任のご挨拶

木田 晃敏



会員の皆様におかれましては、平素から本協会の運営並びに火災予防の推進に絶大なるご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、このたび、平成二十九年から務めさせていただきました会長職を退任させていただくこととなりました。在任中は、本協会の目的である火災予防啓発事業をはじめ、地域及び事業所での防火防災体制の充実強化を着実に進め、その成果を収めることができました。これもひとえに、会員皆様の絶大なるご支援、ご協力の賜と感謝いたしますとともに衷心よりお礼申し上げます。

会員の皆様におかれましては、岸本会長のもと、今後ますます飛躍、発展されますとともに地域社会の安全に大きく貢献されますことをご祈念申し上げます。

最後になりましたが、会員の皆様のご健勝とご隆盛をご祈念申し上げまして退任のご挨拶といたします。

第六十三回 定期総会報告

令和八年六月二十五日（木）、「第六十三回箕面市防火協会定期総会」を消防本部屋内訓練場において開催いたしました。

木田会長の開会挨拶では、協会事業各般にわたる会員皆様の深いご理解とご支援に対する感謝とともに、今後さらに自主防災の輪を広げるためのご協力をお願いする言葉が述べられました。

続いて、木田会長と今年度新たに消防長に就任された平内顧問から、市内の優良事業所及び優良防火管理者等の表彰が行われました。次に、木田会長が議長に推挙され、議案の審議に入り、令和七年度の事業報告・決算報告、基金積立会計報告について審議され、いずれも承認・可決をいただきました。その後、役員の改選について審議され、任期満了により木田会長が退任され、岸本副会長が新たに会長として就任されました。岸本会長の就任挨拶後、令和八年度事業計画（案）及び予算（案）について慎重なる審議をされた結果、満場一致で承認・可決されました。

議事終了後、木田前会長から退任のご挨拶があり、その後、新たに役員に就任された方々が紹介されました。

会計監査では、令和六年度から二年間にわたり、監査事務をお願いしておりました、株式会社池田泉州銀行箕面支店の農山支店長が任期満了のため退任されたことにより、株式会社池田泉州銀行箕面駅前支店の池田支店長（後に異動され、角支店長となる）が新たに就任し、継続の株式会社りそな銀行箕面支店の武蔵支店長とともに、会計監査をお願いすることとなりました。

最後に、平内顧問から、協会の積極的な事業活動に対する深甚なる感謝の言葉が述べられ、閉会となりました。

総会後は、木曽路箕面店において原田市長をはじめ来賓の皆様をお迎えして懇親会を開催し、盛会のうちに閉会しました。



木田会長の挨拶


定期総会の様子


懇親会の様子

○新役員紹介

◆新副会長
・小城製薬株式会社　小城　様
（前 工場部会常任理事）

◆新会計監査
・株式会社池田泉州銀行 箕面駅前支店　角　様
（池田様の後任）

◆公衆集合場部会 常任理事
・大阪北部農業協同組合　和田　様

◆工場部会 新常任理事
・箕面電設株式会社　庄司　様

○表彰を受けられた皆さん（敬称略・順不同）

◆優良事業所表彰
・東京建物Ｂｒｉｌｌｉａ ＨＡＬＬ箕面
・トヨタモビリティ新大阪株式会社箕面店
・北大阪菱光コンクリート工業株式会社
・佐川急便株式会社箕面営業所

◆優良防火管理者表彰
・箕面キューズモール　村木　俊一

◆優良危険物保安監督者表彰
・株式会社ＥＮＥＯＳモビリア
Ｄｒ．Ｄｒｉｖｅセルフ箕面中央店　岡　寛典

◆優良消防団員への感謝状贈呈
・箕面市消防団箕面分団　梅原　丈史
（令和七年度箕面市消防団分団長会幹事長）
・箕面市消防団半町分団　分団長
津賀　雄一（分団代表）
（豊能地区支部代表として第六十九回大阪府消防大会に出場）

令和八年度事業計画

◆火災予防事業の推進

一　防火協会だよりの発行（年二回）
二　会員事業所に対する消火器の購入助成、詰替等の斡旋
三　防火ＤＶＤの購入及び貸出
四　防火作品の募集・表彰
五　優秀防火作品の防火ポスター作成及び配布
六　みのおＦＭ放送「タッキー８１６」を利用した予防広報の実施

◆教養研修の実施

一　優良防火施設の視察研修会の実施
二　防火・防災に関する講演会の開催
三　防火管理者資格取得講習会の受講助成
四　危険物取扱者試験受験準備講習会の受講助成
五　防火教養の推進（図書及び参考文献の購入配布）

◆優良事業所等の表彰

一　優良事業所の表彰
二　優良防火管理者等の表彰
三　優良危険物保安監督者の表彰
四　消防協力者の表彰
五　その他（各団体が行う表彰に対する会員事業所の推薦等）

◆地域防火・防災の推進

一　消防団及び地域自主防火クラブ等の事業に対する助成
二　「地域安全安心ステーション」のネットワーク化
三　「消防団協力事業所表示制度」の普及協力

◆入会の促進

新設事業所等に対する入会促進

◆その他

一　（公財）大阪府危険物安全協会事業への参加
二　「箕面まつり」への参画
三　各種団体との交流
四　協会関係者の慶弔
五　会員事業所間の親睦推進



新任消防士紹介

消防本部では、今年4月に新任消防士6名を採用し、うち5名が4月7日から大阪府立消防学校での初任科教育に派遣され、9月29日に修業したのち、消防署に配属され勤務しています。また、1名は4月1日から消防本部にて勤務しています。



永井（ながい）　淳大（あつひろ）



大西（おおにし）　晃瑠（ひかる）



佐々木（ささき）　美波（みなみ）



新谷（しんたに）　匠（たくみ）



泉（いずみ）　慶輔（けいすけ）



小川内（おがわうち）　海翔（かいと）

消防本部からのお知らせ

令和7年度　更新車両

消防車両を更新しました!

消防本部では消防ポンプ自動車(小型水槽付)を更新整備しました。

また、消防ポンプ自動車(小型水槽付)1台及び高規格救急自動車1台を新規整備しました。

消防ポンプ自動車(小型水槽付)は、小型なボディー形状ながら600ℓの水を積載しており、その機動性を活かし、狭隘な道路にも進入することができます。火災現場に到着後、直ちに積載水を使用して放水することができ、状況に応じてCAFS(圧縮空気泡消火装置)で消火することもできます。

高規格救急自動車は、患者の急変に迅速かつ的確に対応可能な高度な医療機器・装備を備えた高機能な救急自動車です。走行時には傷病者に振動を与えないよう緩衝装置付きベッドを備え、立ったまま処置が行えるスペースを有しています。

箕面市消防本部の新たな戦力として、より一層消防力の充実強化を図っていきますので、引き続き、消防活動へのご理解とご協力、並びに救急車の適正利用をお願いいたします。



消防ポンプ自動車



高規格救急自動車



消防ポンプ自動車

☆お問い合わせ先☆　消防本部消防企画課 警備企画係　☎072－724－9997(直通)

あなたの命を守る「マイナ救急」

「マイナ保険証を活用したマイナ救急」本格的に運用が開始されています



マイナ救急とは、救急隊員が傷病者のマイナ保険証(健康保険証として利用登録したマイナンバーカード)をカードリーダーで読み取り、これまで受診した病院や処方された薬などの医療情報を閲覧するしくみのことです。閲覧した情報は、より適切な応急処置、搬送先の選定のために活用されます。

マイナ救急の実施に当たっては、原則、救急隊員がマイナ保険証の写真と傷病者の顔を見比べて本人確認を行い、同意を得た上で医療情報を閲覧します。もしもに備えて、マイナ保険証を持ち歩きましょう。※令和8年4月から、マイナ保険証を搭載したスマートフォンでも、マイナ救急が実施できるようになりました。



もしもに備えて「マイナ保険証」を持ち歩きましょう!

「マイナ救急」について詳しくは総務省ホームページをご覧ください

☆お問い合わせ先☆　消防本部消防企画課 救急企画係　☎072－724－9009(直通)



消防本部からのお知らせ

令和8年 上半期（1月～6月）消防概況（箕面市管内）

火災 14件

火災種別

◇建物火災	12件
◇その他火災	0件
死者	0名
負傷者	3名
損害額	3,314千円

*損害額調査中4件

火災件数は14件で、昨年上半期(13件)と比べ1件増加しており、おおむね13日に1件の割合で発生したことになります。また、火災による死者は0名で、負傷者は3名です。

判明している火災原因は、電気関係、ストーブ、たばこ、コンロとなっています。



救急 4,057件

事故種別

◇急病	2,414件
◇一般負傷	842件
◇転院搬送	412件
◇交通事故	254件
◇その他	135件
搬送人員	3,782名

救急件数は昨年上半期(4,244件)と比べ187件減少しており、1日あたり約22.3件の割合で救急隊が出動したことになります。

事故種別では、急病が最も多く、救急件数の59.5%を占めており、次に一般負傷、転院搬送、交通事故と続いています。



救助 67件

事故種別

◇建物等による事故	55件
◇交通事故	6件
◇火災(建物)	1件
◇ガス及び酸欠事故	1件
◇その他の事故	1件
救助人員	30名

救助件数は67件で、昨年上半期(67件)と比べて同件数です。救助人員は30名で、昨年上半期(33名)と比べ3名減少しています。

事故種別では建物等による事故が55件、交通事故が6件と続いています。



地震による電気火災対策を！

阪神・淡路大震災、東日本大震災では、電気器具からの火災や停電後の電気復旧時に火災が発生する通電火災が多発しました。両震災による総出火件数の約6割が「電気火災」でした。このような震災時における火災に対する出火防止策として有効なのが「感震ブレーカー」です。

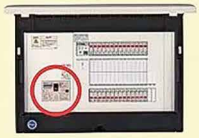
■感震ブレーカーとは？

感震ブレーカーは、地震を感知すると自動的にブレーカーを落として電気を止めます。電気が原因の出火を防ぐためには、避難時にブレーカーを遮断することなどが効果的ですが、大地震発生時にとっさにそのような行動がとれるとは限りません。感震ブレーカーは、あらかじめ設定した震度以上の地震が発生した際に、**自動的に電気の供給を遮断**しますので、**電気による出火防止に効果的**です。

■設置にあたっての注意点

感震ブレーカーなどの設置の有無に関わらず、地震発生後に**自宅から避難する際にはブレーカーを切る**ことも重要です。復電する場合には、事前にガス漏れなどがないことの確認や、電気製品の安全の確認が必要です。夜間などに大規模な地震が発生し、感震ブレーカーなどが作動した場合、避難時の照明が確保できない可能性がありますので、一般的な防災対策としても、停電時に作動する足下灯や懐中電灯などの照明器具を常備してください。

【感震ブレーカーの種類】

分電盤タイプ（内蔵型）	分電盤タイプ（後付型）	コンセントタイプ	簡易タイプ
			
分電盤に内蔵されたセンサーが揺れを感知し、ブレーカーを落として電気を遮断。	分電盤に感震機能を外付けするタイプで、漏電ブレーカーが設置されている場合に設置可能。	コンセントに内蔵されたセンサーが揺れを感知し、コンセントから電気を遮断。	ばねの作動や重りの落下によりブレーカーを落として、電気を遮断。
約5～8万円（標準的なもの）	約2万円	約5,000円～2万円	3,000円～4,000円程度
電気工事が必要	電気工事が必要	電気工事が必要なタイプと、コンセントに差し込むだけのタイプがある	電気工事が不要

（注）住宅分電盤の種類に適した製品をお選びください。

秋の全国火災予防運動

今年も「一九番の日」の十一月九日（月）から十五日（日）までの七日間『火の確認　いい日を支える　いい習慣』を全国統一防火標語とし、秋の全国火災予防運動が実施されます。

火災が発生しやすい時季を迎えるにあたり、箕面市消防本部・消防団では市民の皆様一人ひとりに防火の意識を高めていただき、火災による死傷事故の防止と財産の損失を防ぐため、次の事項に重点を置いた運動が行われます。

本協会の事業におきましても火災予防を最重点とし、消防本部・消防団の皆さんとともに、火災のない安全で住みよいまちづくりに取り組みます。

消防本部の主な行事

一　広報活動の実施

消防車両による巡行宣伝及びコミュニティ放送・立看板・のぼり旗・ポスター他・各種広報媒体により、火災予防を広報します。

二　防火教室の開催

事業所・自治会及び自主防災組織等を対象に防火教室等を開催し、火災予防意識の高揚を図ります。

三　立入検査の実施

防火対象物及び危険物施設の立入検査を実施し、防火安全対策の徹底を図ります。

四　防火作品（入賞及び入選作品）の展示

●十月十七日（火）～十月二十日（金）、十月二十四日（火）～十月二十六日（木）
中央生涯学習センター

●十月二十日（金）～十月二十四日（火）
箕面市消防本部　一階ロビー

※中央生涯学習センター及び箕面市消防本部の展示初日は午後一時から、最終日は正午までの展示となります。

防火作品入賞作品決定

市内の小・中学校に防火作品を募集したところ、総数七八三点（図画・一七二点、習字六一一点）の応募があり、力作ぞろいの作品の中から次のとおり入賞作品が決定しました。

図画の部については、入賞作品の中から今秋と来春の火災予防運動に伴う防火ポスター採用作品二点を選出の上、本協会で防火ポスターを作成し、市内事業所へ送付いたします。

【図画の部】

防火協会長賞（五名）
・中野　空（とどろみの森学園　四年）
・井上　真菜（中小学校　五年）
・山下　栞凛（とどろみの森学園　五年）
・中西　結俐（豊川南小学校　六年）
・濵崎　華（第三中学校　三年）

消防長賞（五名）
・森　智悠（西南小学校　一年）
・三久保　風花（とどろみの森学園　二年）
・上處　類（西小学校　三年）
・土井　千菜津（南小学校　五年）
・勝川　絵茉（とどろみの森学園　五年）

【習字の部】

防火協会長賞（五名）
・田吹　美緒（箕面小学校　二年）
・下村　朱茉音（西小学校　三年）
・秋津　咲來（彩都の丘学園　四年）
・藤井　楓香（西小学校　六年）
・石彩　純（第四中学校　二年）

消防長賞（五名）
・駒居　京弥（萱野東小学校　一年）
・瀬戸口　澪花（南小学校　二年）
・室田　真尋（西小学校　四年）
・重田　結莉（アサンション国際学校　六年）
・能登　葵彩（彩都の丘学園　八年）

（敬称略）

審査員所感

（図画の部）

防火作品・図画の部に応募された皆さん、ありがとうございました。この審査会を通して、皆さんと出会えることをとても楽しみにしていました。応募してくれたすべての作品をワクワクしながら見させてもらいました。

小学校一年生から中学生までの子どもたちの、その年齢ならではの瑞々しい感性で描かれた個性あふれる作品ばかりで、毎年、絵を通した子どもたちとのすてきな出会いがある、秋のこの審査会をとても楽しみにしています。

小学校低・中学年の作品はＡＩには表現できない、子どもにしか描けない自由奔放な線や色で描かれた作品ばかりでした。そして、実際に見て感じ、心に強く残っている箕面の豊かな自然が作品の中に生き生きと描かれている作品もたくさんありました。

高学年や中学生になると伝えたいことをしっかりと伝えるため、線と色を効果的に使ったリアルな表現が作品の中に反映されていることが印象に残りました。

作品の審査に当たっては、その子の思いや表したい主題をクレヨンや絵の具の跡から丁寧に読み取りました。今回、入賞した作品のうち二点が、今秋と来春の防火ポスターとして市内の学校など公共のスペースに掲示されます。そのすてきなポスターがたくさんの人の目にとまり、防火意識の啓発につながることを願います。来年度も大勢の箕面っ子たちがチャレンジしてくれることを期待しています。

箕面市立南小学校　校長　**山下　純**

（習字の部）

本年度も箕面市防火協会協賛の「防火作品・習字の部」に皆さんから多数の応募（六一二点）がありました。大変うれしく、ありがたく思います。ありがとうございました。

「火の用心」「防火」など、どの作品も一画一画を大切に、丁寧に書こうとする真剣な気持ちが伝わってきて、審査員として大変うれしく思いました。素晴らしい作品ばかりでした。一点一点を丁寧に審査させていただきました。大変時間がかかりましたが楽しくワクワクしながら審査させていただき、ありがとうございました。

入賞された皆さんおめでとうございます。入賞作品はいずれも文字の形や筆づかい、字間や全体の構成に加え、伸びやかで丁寧に書かれていて見る人の心に「防火の大切さ」が伝わる優れた作品でした。

習字は正しい筆の持ち方、姿勢を大切にしながら一画一画を丁寧に書くように心がけることを忘れないでください。

次に応募された皆さんの今後の課題として①「小筆」をしっかり練習してください。②学校名・学年・名前を何度も何度も書いてください。付け加えて、横画、縦画などの「基本点画」をさらに意識するとより安定した作品になります。また文字どうしの間隔（字間）にも気を配ることでより見やすく美しい作品に仕上がることでしょう。

最後に、以前にも書きましたが毛筆を持って書く機会をふやしてください。それが上達する第一歩ですよ。来年もまた皆さんの素晴らしい作品に出あえることを楽しみにしています。併せて、「防火・防災」への意識がさらに高まっていくことを期待しています。

関西書道院　元院員　**新貝　廣二**
（元箕面市立中小学校　校長）



●春の防火ポスター作品

箕面市立南小学校　5年　土井 千菜津

協会事務局からのお知らせ

令和8年度大阪府危険物安全大会において表彰受賞！

六月十二日(金)に開催されました令和8年度大阪府危険物安全大会において、株式会社東洋石油Ｄｒ.Ｄｒｉｖｅセルフ箕面給油所様が『大阪府知事感謝状』を、社会福祉法人暁光会あかつき特別養護老人ホーム様が『公益財団法人大阪府危険物安全協会地域安全活動表彰』を受賞されました。



地域に開かれた「箕面消防署萱野分署」が本格稼働

本市では、新設二署目となる「箕面消防署萱野分署」を、本年七月から本格稼働させています。

南部市街地中央に位置する二,〇一五㎡の敷地に、RC造地上二階建て延床面積九九八㎡の庁舎棟と、RC造地上五階建て延床面積三二二㎡の訓練棟を整備しました。また、敷地の一部には訓練を間近で見学できる「消防見学エリア」を設け、地域に親しまれる開かれた消防署をめざしています。

訓練施設には、レイアウト変更が可能な検索訓練室をはじめ、無害化排煙設備を備えた燃焼実験室、立坑訓練室や渡過訓練室などを整備したほか、中高層建物を想定した訓練や、河川・山間部での転落事故、水没事故を想定した深さ四mの低所訓練施設を整備し、多種多様で実戦的な訓練が実施可能となっています。

今後も日々の訓練を重ね、災害対応力のさらなる向上を図るとともに、地域とのつながりを大切にし、子どもたちが消防を身近に感じ、消防士に憧れてもらえるような消防署をめざしてまいります。



箕面市消防団水防訓練を実施しました！

八月二十三日(日)に、箕面市消防団が消防本部署庭で水防訓練を実施しました。この訓練は、台風や大雨によって風水害が発生した場合、水防活動が円滑に実施できるよう、水防技術の向上を図ることを目的としています。

当日は、消防団員一〇七名が参加し、講師二名のかたから指導を受け、土のうを積み上げる水防工法の説明を受けた後、土のう製作と、土のう積みの実技を中心に行いました。

しっかりとした土のうを適切に作り、積み上げなければ、水防の効果は期待できません。参加した消防団員の皆さんは、「この土のうは、自分や家族、地域の皆さんの命を守る土のうだ」という気持ちで、熱心に取り組み、水防工法を学びました。

土のうを積み上げて浸水等を防ぐ水防工法は、多くの人手が必要な技術です。過去には、箕面市内でも実際に台風や大雨による災害が発生し、多くの消防団員が土のう積みを行い、被害を最小限に抑えています。

訓練を終えた消防団員の皆さんは、台風やゲリラ豪雨等による風水害に対して学んだことを、地域で活かしていきたいと話されていました。



消火器の購入助成

本協会では、事業所内での消火器の設置普及を図るために、次のとおり購入助成を実施しておりますのでご利用ください。また、詰替の斡旋も行っております。

◆助成対象の消火器（蓄圧式粉末ＡＢＣ10型消火器）一本二,〇〇〇円（ただし、一年度内において、会費一口につき一本とさせていただきます。）

◆助成以外の消火器（蓄圧式粉末ＡＢＣ10型消火器）一本七,二二〇円

《お問い合わせ先》
箕面市防火協会事務局
☎0072－724－9002（直通）

協会事業所のご紹介



箕面市で地域医療を支える「ためなが温泉病院」精神医療からリハビリテーションまで幅広く対応

箕面市今宮にある「ためなが温泉病院」は、精神医療を中心としながら、一般診療やリハビリテーション、歯科などにも対応しています。
長年にわたって地域の医療を担い、患者様の精神面、身体面、生活面に目を向けた温かい医療を提供しています。



医療法人 清順堂
ためなが温泉病院
〒562-0033
大阪府箕面市今宮4丁目5番24号
TEL(072)729-7615